

# 臨床試験における AIの活用の現状と展望

～有事の感染症臨床試験を見据えて～

日 時

2026年1月26日(月) 15:00-17:00

主 催

国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 



総合司会

国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター長  
杉浦 瓦 先生

参加無料  
※事前登録制

ウェビナー

## プログラム

15:00-15:05	開会挨拶	国立健康危機管理研究機構 理事長 <b>國土 典宏</b> 先生
15:05-15:30	講演 1 : アカデミア 「生成AIが変える臨床試験の未来 - アカデミアの視点から」	国立がん研究センター中央病院 国際開発部門長 <b>中村 健一</b> 先生
15:30-15:55	講演 2 : 製薬企業 「製薬企業の視点から見る臨床試験のAI活用 - 一日も早く新薬を患者さんに届けるために」	中外製薬株式会社 バイオメトリクス部 ヘルスケアデータエンジニアリングG <b>石黒 武藏</b> 先生
15:55-16:20	講演3 : 倫理 「医療・研究におけるAI活用の倫理的配慮」	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療倫理学 教授 <b>井上 悠輔</b> 先生
16:20-16:25	休憩	
16:25-16:55	パネルディスカッション： 「有事に備えたAI活用における可能性と課題」	<p><b>モデレーター</b> JIHSインターナショナルトライアル部長 <b>時田 大輔</b> 先生</p> <p><b>パネラー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① JIHS国際感染症センター長 <b>大曲 貴夫</b> 先生</li> <li>② JIHS JCRAC運営部長 <b>大柳 一</b> 先生</li> <li>③ 国立がん研究センター中央病院 <b>中村 健一</b> 先生</li> <li>④ 中外製薬株式会社 <b>石黒 武藏</b> 先生</li> <li>⑤ 京都大学大学院医学研究科 <b>井上 悠輔</b> 先生</li> </ul>
16:55-17:00	閉会挨拶	JIHS臨床研究センター長 <b>杉浦 瓦</b> 先生

● 開催事務局：国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター 臨床試験調整室  
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
rinshou\_chousei\_group@jihs.go.jp

参加登録は  
URLかQRコードから <https://vb.wufoo.com/forms/qeypy5a1e6e5hg/>

